

部分サイディングの配置方法【平面モードの利用】

文書管理番号：1065-01

Q. 質問

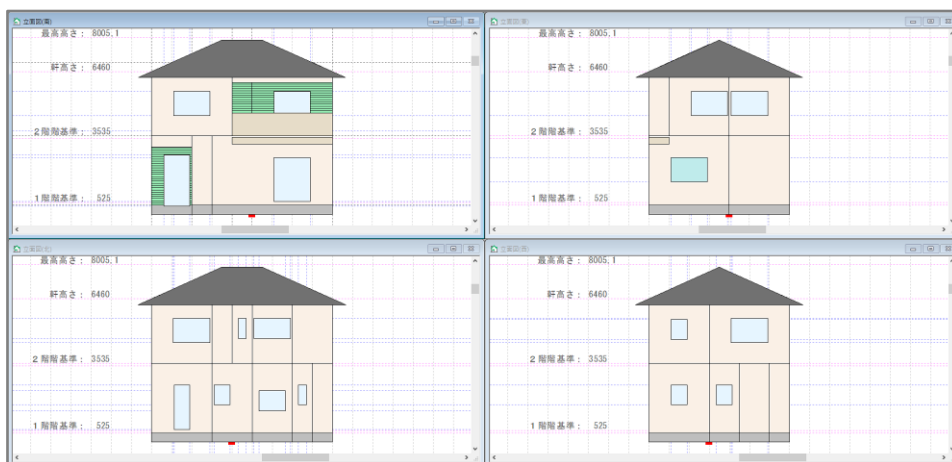
外部意匠配置で、部分サイディングが上手く配置できない。

A. 回答

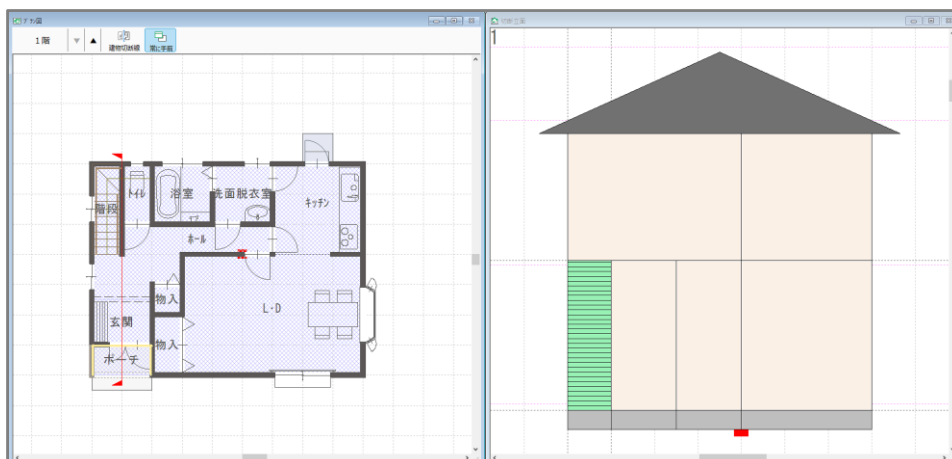
外部意匠配置で入力する部分サイディングは、外壁やバルコニーの手摺壁、出窓の一部などに配置できます。

外部意匠配置では、立面表示で入力するモード（立面モード）のほかに、平面表示で入力するモード（平面モード）や、任意に切断位置を指定した切断断面表示で入力するモード（断面モード）があります。

<立面モード>






<平面モード+断面モード>

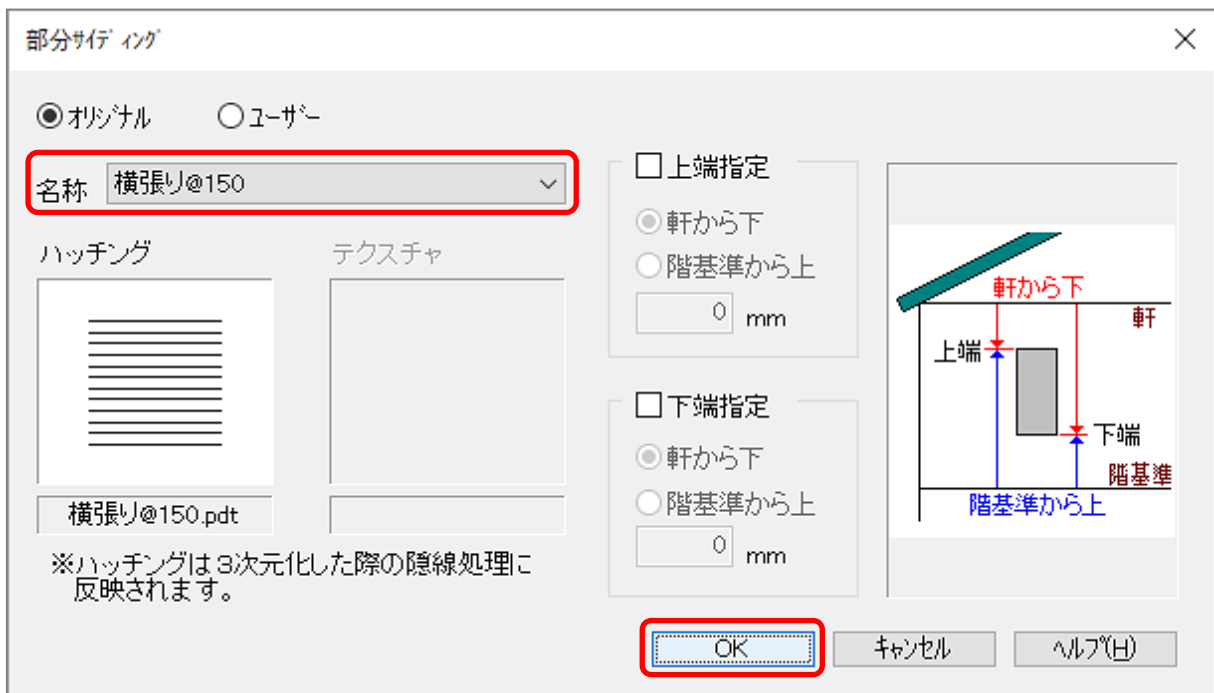


外部意匠配置を開くと、立面モードで起動します。

例えば、インナーバルコニーの奥の外壁や凹型のポーチの内側の外壁など、立面モードで部分サイディングが上手く配置できない場合には、平面モードに切り替えて配置します。

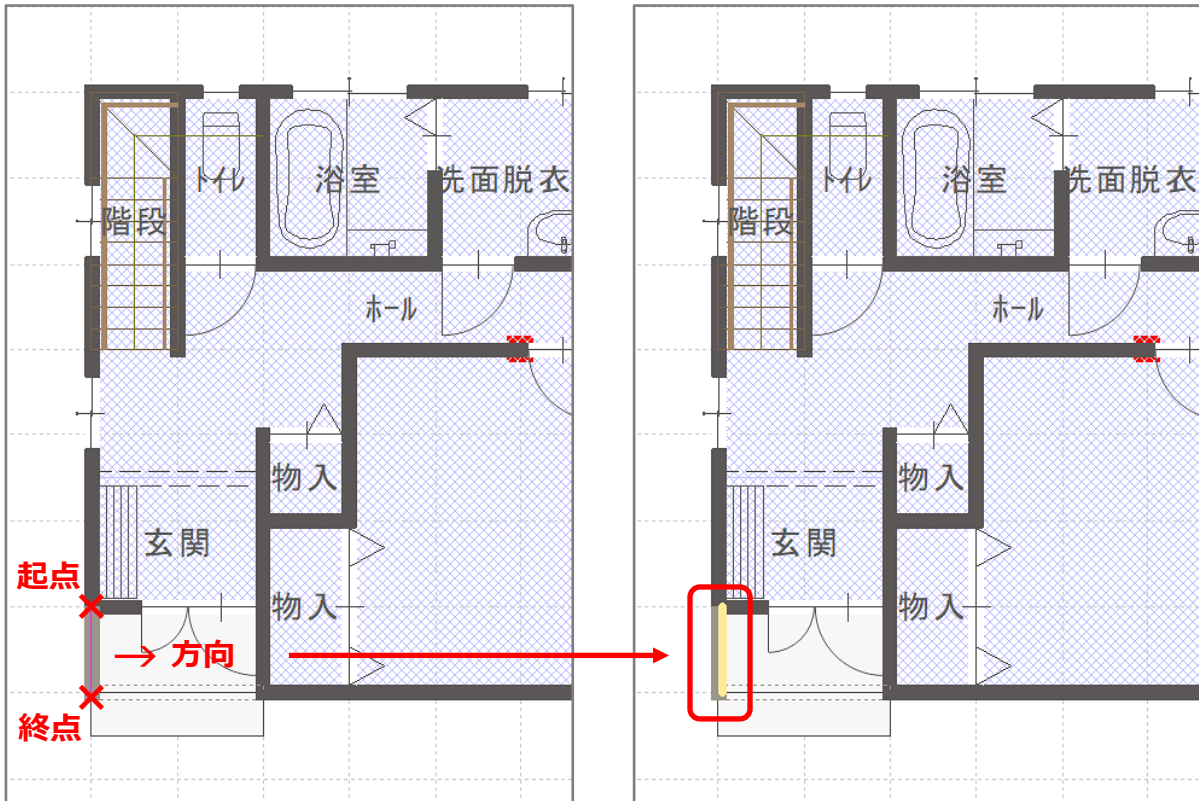
操作手順

- ①  (外部意匠配置)で、画面上部の横ならびのアイコンから  (平面モード)をクリック
 - * 平面モードの画面が開き、平面表示に切り替わります。
- ②  (部分サイディング)をクリック
- ③ 名称からハッチングの種類を選択し、上端・下端指定はなし（チェックを入れない）で「OK」をクリック



- ④ 作図モードが  (2点方向指示)になっていることを確認

⑤ 部分サイディングを配置したい外壁芯上に、起点—終点で長さを取り、方向を指示

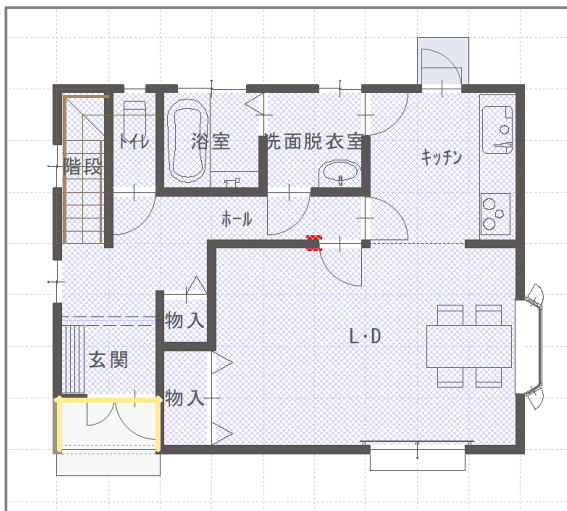


- * 指示した長さで部分サイディングが配置されます。
- * 平面モードでは、部分サイディングは黄色の太線で表示されます。

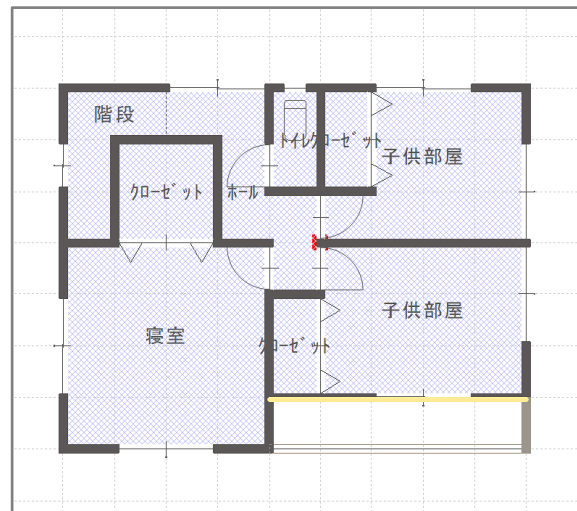
⑥ 同様に部分サイディングを配置したいすべての位置に配置




- * 平面モードで別の階に配置したい場合は、表示階を切り替えて配置します。

<1階>



<2階>



- ⑦  (3D パース)や  (カラー立面)、  (立面図)で確認

<3D パースでのレンダリング画像>



【注意】

部分サイディングは、各階ごとに設定してください。1階から2階まで通して配置することはできません。

また、部分サイディングは、外郭となる外壁に配置できます。3次元化の際に自動で生成される外壁部分（入母屋屋根の妻壁部など）には、配置できません。

自動で生成される外壁部分を張り分けたい場合は、3D パースなどでその外壁面のみ選択し、色を変更してください。

【参考】

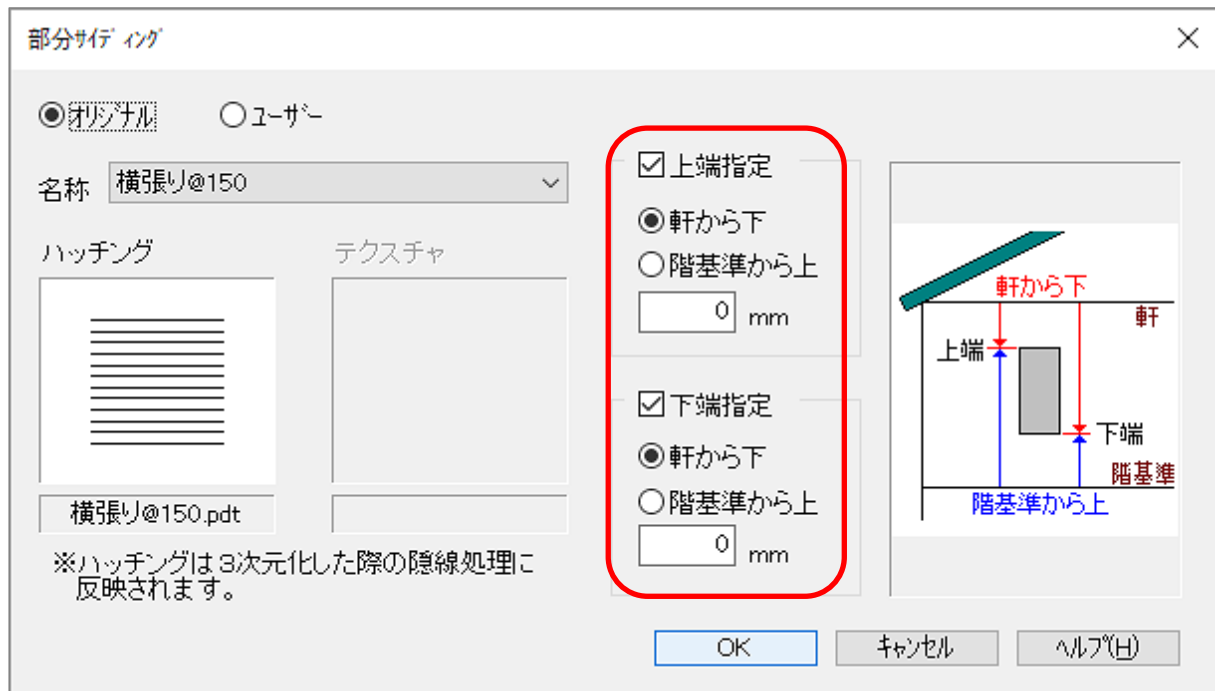
配置した部分サイディングのハッチング模様は、立面図や3Dパースの線画に反映されます。パースを線画で線画として出力する方法については、こちらをご覧ください。

[\[1051\]パースを線画で出力する方法](#)

- * パースの線画出力は、「1/100 平面図」機能が含まれるシステムで行えます。

参考


平面モードで部分サイディングを配置する場合は、上端・下端の高さを数値で指定できます。




上端指定・下端指定にチェックを入れ、高さの基準を選択し、基準からの高さの数値を設定します。



高さの数値には、マイナス値も入力できますが、配置する階の外壁部分への配置になります。

1階と2階にまたがる場合に、上端・下端指定で数値を設定しても、1階と2階にまたがって配置はされません。

バルコニーの手摺壁に部分サイディングを配置する場合は、平面モードの (手摺指示)で、手摺と方向を指示して配置すると、手摺壁全体に一括で配置することができます。

参考

立面モードと断面モードの画面は切り替え表示ですが、平面モードの状態では (断面モード)を選択すると、平面モードと断面モードの画面を並べて表示します。

平面モードから立面モードに切り替える場合は、 (立面モード)が ON の状態で、 (平面モード)を選択して平面モードを閉じると、立面モードに戻ります。